

学校だより

令和7年11月4日



いちよう

目指す学校像

生徒一人一人の力が伸びる学校

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田1-1-1

TEL (048) 479-4052 FAX 482-0133

「心理的安全性」のある学校に

校長 石田 和男

だいぶ日暮れ（最近の日の入り時刻：16時50分頃）が早くなり、朝・夕方ともにずいぶん寒くなってきました。通勤途中の景色や、校舎周りの広葉樹が少しずつ色づき始めています。校舎の木々が様々な彩りに覆われる日が近づき、秋が深まってきています。

さて、学校における「心理的安全性」とはどのようなことなのでしょう。これは、①自信をもって発言できる環境、②失敗を恐れない文化、③ありのままにいられる関係性など、生徒が自分の意見や気持ちを安心して発言でき、失敗を恐れずにチャレンジできる環境のことをいいます。では、「心理的安全性」をもっとも脅かすものは、为什么呢。そうです。それは、「いじめ」です。いじめ防止対策推進法によると、いじめとは「一定の人的関係にある他の児童等（生徒）が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、当該行為の対象となった児童等（生徒）が心身の苦痛を感じているもの」とされています。簡単に言うと、ちょっとした悪口（特に、「死ね」「消えろ」などは、人の命を否定する最低最悪な言葉だと自覚すべき）や仲間外れ等でも「心身の苦痛を感じているもの」はすべて「いじめ」です。本校では、毎月生活（いじめ早期発見の）アンケートを行うとともに、子供たちの訴えに耳を傾けて対応しています。では、なぜ「いじめ」はいけないことなのか。それは犯罪行為だからです。身体的苦痛を与える行為は、暴行罪や傷害罪あるいはそれ以上の罪に、心理的苦痛を与える行為は、侮辱罪や名誉毀損罪、脅迫罪や強要罪等に問われる可能性があります。つまり、いじめは違法行為であり、決して許されることではないのです。

いじめを行う人間は、自分がいじめられる立場になる可能性を自ら高めています。「いじめをいけないことだと思っていない」のだったら、「あなたをいじめる行為も悪いことではない」という理論が成り立つことに気づいていないのです。事情を聞くと、様々な理由や自分を正当化するような言葉が返って来ることもありますが、その解決方法は「いじめ」ではないはずです。いじめを周りで見たり聞いたりしている人も嫌な思いをし、心理的に不安な状態になります。自ら止めることはできなくても、何らかの行動を起こし、三中をいじめのない「心理的安全性」のある学校にしていきたいですね。

第53回体育祭「史上最高 ～PRIDE & PASSION 限界の先へ～」

今年は、当日を含め、秋晴れ（途中雨も降りましたが）の中、体育祭を無事に開催することができました。みなさん、素晴らしい体育祭をありがとうございました。

吹奏楽部の演奏に合わせた力強い入場行進、団長・副団長による見事な旗のパフォーマンス、魂の込めた団長の選手宣誓、美術部の生徒によるスローガンを描いた大きな横断幕の掲示など、また今年も噂の体育祭が三中に返ってきたと感じた開会式。競技、係の仕事に全力で取り組み、仲間の応援などに楽しむ姿、閉会式での力強い校歌を歌う姿、圧倒的な結束力を示した団のパフォーマンス等々。どれをとっても素晴らしかったです。3年生が中心となって創り上げる最後の行事としての体育祭が終わりました。3年生が引っ張り、それについていった1, 2年生も沢山の成長の跡が見られました。1, 2年生が来年上級生として、よき伝統として三中の体育祭を繋いでいく姿が、今から楽しみです。体育祭、お疲れ様でした。